



寒風の下、 意気込みあらたに 出初式



1月6日(日)の出初式では文化体育館での式典に続き
洲本港において、消防団の各分団が竹内市長と小川消防
団長の観閲を受けました。このあと16分団が一斉放水を
行いました。

2013.1 ラインアップ

新春特別企画「市長に聞く! 2013年の洲本市」 P2-5
みんなですすめるまちづくり(特別編) P6-7
消防団出初式 ほか P8
消防自動車引き渡し、消防団協力事業所表示証伝達式、
電気工事工業組合と災害協定 P9
おめでとうございます 叙勲・表彰、善意、
いきいきわくわくまちづくり、パブリックコメント募集 P10-11

所得税の確定申告と市県民税の申告 P12-13
くらしのいきいき情報 P14-15
市営住宅入居者募集 ほか P16
健康だより ほか P17
公共施設からのお知らせ P18-19
まちかどトピックス P20



収録場所：再生町屋店舗の
とらかめ舎

新春特別企画

「市長に聞く！ 2013年の洲本市」

新年あけましておめでとうございます。
今の特集は、「市長に聞く！2013年の洲本市」と題して
淡路島テレビジョンとの合同企画です。
市政に関する質問への答えや抱負を竹内市長が語りました。
(聞き手：淡路島テレビジョン 土生佐緒里さん)
紙面では、再構成してお伝えします。



土生：市長、あけましておめでとうございます。

市長：あけましておめでとうございます。今年も、本市に住む方々にとって、より良い年であることをご祈念申し上げます。

観光振興について

土生：最初に、観光について、これまで取り組んできたことや、今後の予定を教えてください。

市長：はい、私自身、昨年の印象深いイベントの一つに、先月号の重大ニュースでも紹介した「城下町洲本レトロな

まち歩き」があります。私も参加しましたが、昨年の春と秋に行われ、大変にぎわっていました。

このまち歩きイベントがきっかけとなり、空き家を改装した食堂などが開店していることを、大変喜んでいました。是非とも、まちの活性化につながっていくよう、「レトロなまち歩き」に期待しています。

また昨年の10月、吉本興業のタレント、たむらけんじさんに、淡路島観光GM（ゼネラルマネージャー）に就任いただいたことも印象深い出来事です。



▲淡路島観光GMのたむらけんじさん

淡路島が大好きなたむらけんじさんと共に、淡路島の魅力を発信できるよう、より一層観光振興に励みたいと思っています。

この他、昨年は大浜海岸に、第一期工事としてビーチハウスと遊歩道が完成し、海水浴や公園内の散策が楽しめるようになりました。



▲大浜公園に完成したメインビーチハウス

また、洲本城の本丸のトイレが昨年の4月に、新都志海水浴場が6月に完成しました。

平成25年度には、大浜公園の第二期整備事業を開始し、サブビーチハウスの建設や遊歩道の整備を行う予定です。

あわじ環境未来島構想

について

土生：「あわじ環境未来島構想」の中で、特に市民の関心が高いエネルギー対策について教えてください。

市長：はい、エネルギー対策としては、みなさん既にご存知の、風力発電と菜の花・ひ

まわりエコプロジェクト、太陽光発電設備が最初にあげられるかと思えます。

風力発電施設は都志にあり、環境学習の場所として島外からの見学者も訪れています。菜の花・ひまわりエコプロジェクトは、菜の花やひまわりから食用油を搾油し、使用済みの食用油をBDF（バイオディーゼル燃料）に変え車両などに活用し、循環型社会を実現するものです。太陽光発電は、市民の皆さんが設置する住宅用太陽光発電設備への補助のほか、市内の公共施設を活用して、整備を進めています。



▲防災センター鳥飼会館の太陽光発電設備



▲実証実験中の電動ドライブ船「鳥飼丸」

一昨年6月には、防災センター鳥飼会館に民間出資100%という、これまでとは全く異なる方式で、太陽光発電設備を整備しました。菜の花・ひまわりエコプロジェクトや、太陽光発電設備の整備事業は、今後もさらに拡大して行うつもりです。また、農林漁業のクリーンエネルギー化も大事なエネルギー対策事業です。昨年の12月から、電動ドライブ船の実証実験が鳥飼浦で始まりました。これは、漁業でのCO2の削減を目的に、従来の化石燃料で動くエンジ

ン船から、電気でも動くモーター船への切り替えとなる実証実験です。五色町漁協の協力で、この電動ドライブ船を実際の漁業で使う場合、どの程度の電力を消費するかなど、さま

ざまなデータを収集します。今後、電動ドライブ船の実用化に生かせることになる時期を待っています。

由良町内田の土取跡地では、民間企業がメガソーラー発電



所を整備すると聞いています。

定住自立圏構想に

ついて

土生：定住自立圏構想を簡単に言うと、中心市と、その周りの市町村が連携し、地域全体の発展や人口を増やす対策について、国から財政面での支援を受けられるものと理解していますが、それでよろしいのでしょうか。

市長：その通りです。

共通の問題を抱える近隣の自治体同士が、連携してさまざまな課題に取り組んでいくことが、この構想の目的です。具体的には、医療問題、介護などの福祉問題、学校などの教育問題、公共交通の空白地域の問題などです。

今、淡路島で特に問題になっているのが、救急医療体制の確立と、公共交通の空白地域の解消だと私は考えています。

現在、小児救急は、市の応急診療所や在宅当番になっていく民間の当番病院や診療所などで対応していますが、十分とは言えない体制であることは皆さんもご承知の通りです。



▲上灘で走る市のコミバス

また、路線バスが赤字のため撤退し、公共交通が無くなってしまった地域があることも問題です。

救急医療問題や公共交通の空白地域の問題は、一つの市だけで解決できる問題ではありません。そこで、隣の市と連携し、この課題に取り組んでいくわけです。

淡路島全体が良くなり、住みやすいまちが実現できるように、昨年の10月に「中心市宣言」を行い、最初の第一歩を踏み出しました。

今年、淡路市や南あわじ市と、共通の問題解決に向け

で、次のステップに向かう年だと考えています。

「こういう問題を解決するため、こういう仕組みを検討してはどうか」や、「こういう事業をして問題を解決しよう」と具体的な課題解決に向けた協定を淡路市や南あわじ市と結べるよう、頑張っていくつもりです。

企業誘致について

土生：企業誘致に期待する市民の声もあります。この点については、どうお考えですか。

市長：そうですね、今、全国的にどこの自治体も企業誘致に力を入れていて、明石海峡大橋の通行料金の問題などで、洲本市が優位性を出すことは非常に難しいと考えています。ですが、近い将来、明石海峡大橋の通行料金が一般高速道路並みに値下がりすれば、



▲制度を利用して進出した企業

ば、大きなチャンスになると思っています。

同時に、地元にある事業者を育てることも大事と考えています。島外からの企業誘致だけでなく、今ある事業所の業務拡張などを積極的に応援しています。既に、4件の事業者が企業誘致制度を活用していますので、他の事業者にも是非とも前向きにご検討いただき、制度を活用して頂ければ、と考えています。

企業誘致の話にも関連しますが、人口の流出を防ぎ、雇用環境の整ったまちづくりを目指す考えです。

大手の企業が海外進出をす

る時代です。企業誘致が簡単に進む状況ではありません。それならば、働き手は、昼間は島外の会社に勤めても、夜になると帰ってくる、そんな仕組みができれば良いと考えています。

具体的には、淡路島で3世代が同居できる環境づくりを目指したいです。

例えば、「お帰りのさいプロジエクト」と題して、

Uターンで洲本に帰ってきた島外の会社に通うお父さん世代への応援ができれば、と思っています。

もちろん、お父さん世代は洲本の家におじいちゃん世代と一緒に住んで、子どもたちは地

元の小学校に通います。おじいちゃん世代に介護が必要となっても、同居する家族が面倒をみるようになります。こういう3世代が和気あいあいと一緒に家に住んで、暮らしていける「住みたいまち、住んで良かったまち洲本」を実現できれば、と思っています。



▲3世代同居イメージ

新庁舎について

土生：市民の関心の高い新庁舎の整備計画についてはどうお考えですか。

市長：新庁舎の建設については、白紙状態から議論を重ね、現在の場所に建て替える案を採用しました。

理由は、次の4点です。

まず第1点目として、現在の庁舎の場所が持つ歴史性です。昭和38年に旧洲本市の庁舎として建てられ、それから50年近く、淡路島の政治や文化の中心地としてその役割を果たしてきました。



次に第2点目として、庁舎がまちづくりの中核施設として機能している点です。建て

替えによる中心市街地の活性化を望む意見もあり、私自身もその通りだと考えています。

第3点目として、現在の庁舎の近くには、社会インフラがそろっている点があげられ



▲現在の市役所庁舎

ます。高速バスセンターや国・県の出先機関など、各種の施設が近隣に集中しています。さらに第4点目として、庁舎が持つ防災拠点としての機能です。近い将来、発生が危惧されている南海・東南海地震では、津波被害の恐れがあります。このような時に、津波から避難できる場所、津波避難ビルとして、新庁舎が重要になってくると考えています。

加えて、島外から洲本に帰ってきた人や子どもたちが、「ああ、洲本に帰ってきたんだな。」と思ってくれるような庁舎です。ただし、華美なもの、豪華なものにするつもりは全く



▲津波を想定して避難訓練

ありません。これからの50年を支えていく、そして広く市民から愛される庁舎になるようにします。

今後、新庁舎の設計を行います。具体的なデザインなどが決まりましたら、広報などを通じてお知らせします。

完成は平成28年ごろになります。



◎第2回すもとマラソンは2月24日(日)に開催します

平成25年の抱負について

土生：最後に平成25年の抱負を教えてください。

市長：昨年は洲本の若者がい로운分野で活躍した年でした。今年も大いに活躍するようご祈念申し上げます。

私も、精一杯頑張りますので、皆さま、今年もよろしくお祈りします。

楽しく活動しています 楽しみ つながる ひとづくり まちづくり

みんなですすめるまちづくり

特別編

まちづくり、地域づくりの実践例を紹介する「みんなですすめるまちづくり」のコーナー。
今月号では、特別編として、まちおこしや田舎暮らし支援に取り組む2つの事例を紹介します。



古いまちなみを 活かしたまちおこし

洲本の市街地には、大正、昭和期の古い町屋が、空き家や使われない状態で、ところどころに残っています。

路地を歩くと、これらの建物が懐古調の雰囲気を出しています。

そんな町屋を活用したイベント「城下町洲本レトロなまち歩き」が昨年の4月28日、29日と、10月20日、21日の各2日間開催され、期間中、約17,000人が町歩きを楽しみました。

よみがえる にぎわいの記憶

このイベントを実施したのは、「城下町洲本再生委員会」という有志の集まりです。同委員会の野口会長は「古びた建物が、雰囲気があつていいなと気が付く人がいて、それなら、若い人が集まるカフェやギャラリーとしてイベント期間だけでも復活させて、まちなぎわいを思い起こせ

らと思った」と言います。

思いを同じくするメンバーが毎週集まり、建物所有者との交渉、出店者との打ち合わせ、建物の清掃や一部修繕など、役割を分担して進めました。

イベント当日は、好天に恵まれ、大盛況となり、これをきっかけに映画撮影なども行われました。

つながる 新しい取り組み

12月には、まちあるきイベントで使用した数軒の空き家



が改装され、食堂、ギャラリー、店舗としてオープンしました。中でも「こみち食堂」は、地域ボランティアが行ってきた外町連合婦人会が経営しています。

同婦人会の大会会長は、「給食サービスは、決まった日だけなので、毎日お年寄りが立ち寄って、話をしたり、食べたりできる場が必要だと思っていました。イベントを経験して、なんとかなると思い切つて始めました。島外の人や若い人にも来てもらつて交流の場にできれば」と笑顔で話します。





田舎の魅力を伝える

四方を海に囲まれ、里山が近く、温暖で農業や漁業などが盛んな淡路島。

NPO法人あわじFANクラブは、そんな島の特性を生かした農業体験イベントや自然観察会などを開催してきました。平成18年の設立以来、これまでに、200回以上のイベントを開催し、延べ8,000人以上の参加がありました。

島の魅力を伝えたい

「淡路島に住んでいる人は、その魅力に気がついていない気がする」と同クラブ事務局長の赤松清子さん。「この魅力を伝えたいと思う仲間が集って始めたのが活動のきっかけ」と話します。

同クラブは、「都会ではできない『ほんまもん』の体験を淡路島で」をキャッチフレーズに、田植えや稲刈りをはじめ、タケノコ掘り、玉ねぎや落花生の収穫などの農業体験、ウミホテル、星空、野鳥、磯



場などの自然観察会を月に2、3回の頻度で行っています。

試せる島暮らし

また、一昨年、空き家を活用した交流拠点施設「宙（おぞら）」を開設。同クラブの活動拠点とすると同時に、あわじ暮らし総合相談窓口（㈱淡路島くにうみ協会委託事業）として、田舎暮らしに関する情報提供や面談、移住した人同士の交流や情報交換などの場となっています。

また、同施設内には、移住を希望する人が「お試し移住」できる離れもあり、田舎暮らしを試しながら、情報収集や



仕事探し、物件探しをすることができず。

すでに、同クラブがかかわった移住世帯は36世帯。赤松さんは「淡路島の良さを知って住む人が多くなってるうれしい。移住してきた人とも情報交換をして、楽しみの輪も広がっている」と喜んでいました。

楽しく続けたい

取材した二つの団体では、洲本や淡路島を紹介すること、人との出会いと新しいつながりを得ることが楽しく、やりがいを感じていました。

本市においても、まちおこしや、田舎暮らし、移住・交流を進めるため、それぞれの団体の自主性や特性を尊重しながら、取り組みを応援したいと考えています。

平成25年 洲本市消防団出初式



新春恒例の洲本市消防団出初式が1月6日(日)、文化体育館(しばえもん座)で開かれ、出席した消防団員らは、火災や風水害のないまちづくりに向け、団結を誓いました。

式典には、消防団員など約500人が出席。小川宏行団長は、「消防団は、災害時以外にも、平時から地域社会にとけ込み、地域住民から信頼される組織であることが重要」と訓示。竹内市長は、「東南海・南海地震の発生が危惧され、常に災害の発生に備えた取り組みは重要です。自主防災組織と一体となって防災訓練や減災に向けた取り組みの強化をお願いしたい」と述べました。

式典には、消防団員など約500人が出席。小川宏行団長は、「消防団は、災害時以外にも、平時から地域社会にとけ込み、地域住民から信頼される組織であることが重要」と訓示。竹内市長は、「東南海・南海地震の発生が危惧され、常に災害の発生に備えた取り組みは重要です。自主防災組織と一体となって防災訓練や減災に向けた取り組みの強化をお願いしたい」と述べました。

- ◆ **日本消防協会会長表彰**
- 【団本部】中原章晴
- ◆ **洲本市長特別表彰**
- 【二元団本部】竹口弘之



- ◆ **兵庫県知事表彰**
- 功績章 【団本部】小嶋康司
 - 永年勤続功労章
 - 【外町分団】武田浩昭
 - 【千草分団】谷 泰秀
 - 【由良上灘分団】戒 貞治
- ◆ **兵庫県消防協会会長表彰**
- 功績章 【団本部】上處由雄
 - 海道昭統 【千草分団】谷 泰秀
 - 精績章 【団本部】高津範明
 - 【潮分団】横山智康 【大野分団】増見昌之 【都志分団】大杖義孝 【堺分団】北畠幸一
 - 精勤章 【内町分団】小谷敦朗 【潮分団】濱口正広 【安平分団】上内 元 【都志分団】笹山真司 【鮎原分団】田中章宏、才花 毅 【鳥飼分団】秋田拓也、梶田富弘 【堺分団】西尾昌浩
- ◆ **洲本市長表彰**
- 【団本部】西野大輔 【内町分団】藤代義龜 【物部分団】西洋典 【潮分団】浦島英治
 - 【千草分団】宮下恭一 【加茂分団】牛田周吾、馬場啓貴
 - 【大野分団】竹池一敬、樋口智也、開 義統 【中川原分団】太田貴文、中山央則 【安平分団】上内 元、番匠昌志
 - 【納鮎屋分団】森脇伸介 【由良上灘分団】川岸貴雄、増田正一 【都志分団】山中康平、浜田大亮 【鮎原分団】高田一成、吉田尚司 【広石分団】清水信博 【鳥飼分団】除 大尚、粟井文章 【堺分団】濱田剛宏

今日も楽しいおつきあい

淡路信用金庫

理事長 瀧川好美

本店 洲本市宇山
店舗 島内 20店
神戸市 6店
明石市 2店
西宮市 1店

【広告】

消防自動車の引き渡し

加茂、大野、都志、鮎屋分団

消防自動車整備事業で購入した4台が、12月13日(木)それぞれに分団に引き渡されました。

市消防防災課では、消防自動車の更新時期を20年としており、今年度はポンプ自動車(都志分団)、小型ポンプ積載車(加茂分団、鮎原分団)、小型ポンプ付(軽)積載車(大野分団)を購入しました。



真新しい自動車を受け取った小川宏行消防団長は、「それぞれの分団で大切に管理し、操作方法を習熟していざという時に備えたい」と話しました。

配備された分団では、早速、地元のため池などでポンプを動かして訓練を行いました。

消防団協力事業所



12月10日(月)に行われた防災講演会に合わせ、淡路地区消防団協力事業所表示証伝達式が行われ、市内の淡陽信用組合、社会福祉法人洲本たちばな福祉会、株式会社中央電機に表示証が贈られました。

この制度は、淡路地区消防協議会が消防団に積極的に協力している事業所に表示証を贈呈し、地域の消防防災力の強化・推進を図るものです。

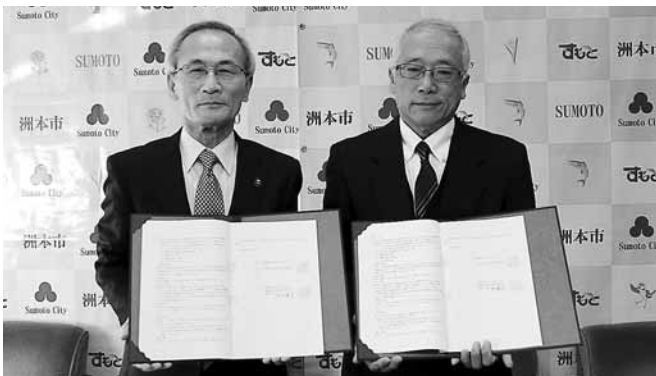
今回の3事業所を含め市内では12事業所が認定されます。

電気工事工業組合と災害協定

12月27日(木)、兵庫県電気工事工業組合淡路支部と市が、大規模災害時の応急対策業務に関する協定を締結しました。

この協定により、災害発生時には、防災拠点や避難所の電気設備の復旧作業が迅速に進められると期待しています。

同支部長の有田憲史さんは、「万が一の災害の時には、協定に基づき、円滑な対応をして復旧作業をしていきたい」と話していました。



夢あるくらしのパートナー



淡陽信用組合

理事長 勢戸 堅祐

本店/洲本市栄町一丁目3番17号 TEL. 0799(22)5555(代)

広告

高齢者叙勲

瑞宝双光章（郵政功労）

元・特定郵便局長

田中 弘さん（五色町鳥飼中）



田中さんは、昭和22年、鳥飼郵便局に入局し、昭和52年から63年まで都志郵便局長（現在の五色郵便局長）として勤務されました。

に西淡青年学校に教諭として採用。

昭和57年から60年までを五色中学校の校長として勤務し、退職されました。今回の受章に「あらためて、子どもたちと過ごした楽しい時間を思い出しました。」と語られました。

瑞宝双光章（行政功労）

元・淡路県民局参事

三野昇一郎さん（物部1）



また、局長として昭和59年に水害でたびたび浸水していた局舎の移転に尽力されました。受章の報に「良い先輩や部下に恵まれました。」と感謝の言葉を話されました。

瑞宝双光章（教育功労）

元・五色中学校長

川淵 肇さん（五色町鮎原上）



川淵さんは昭和19年9月

三野さんは、昭和22年、県淡路支庁に入庁以来、県職員として37年間勤務されました。昭和57年には、県民局企画調整担当参事として淡路広域水道企業団の設立に、尽力されました。受章にあたり、「支えてくれた妻や部下のおかげです。」と喜んでいました。

ありがとうございます 善意

赤星 憲広さん

元阪神タイガース選手の赤星さんは、車椅子1台を大野小学校に寄贈しました。赤星さんは、これまでも車椅子を市内5カ所の施設などに寄贈されています。



▲昨年に寄贈を受けた由良小学校の車椅子

図書館市民まつり 実行委員会

（大村均委員長）

同実行委員会は、「図書館市民まつり・リサイクルフェア」で集まった募金17,517円を活用し、大型絵本などの図書を購入し、洲本図書館に寄贈しました。

いきいき わくわく まちづくり

下内膳農地水環境保全隊

みどり豊かなふるさと大賞委員長賞を受賞

地域ぐるみで農地や水を守り、農村環境の保全に取り組む団体を表彰する“みどり豊かなふるさと大賞委員長賞”を、このたび「下内膳農地水環境保全隊」が受賞しました。

同保全隊では、非農家と農家が一体となって、ため池の保全や「釈迦堂川」などの水路の清掃、水質向上などに取り組んでいます。

同保全隊では、今後も精力的に活動を続け、農村環境の保全と営農意欲の向上につなげたいと考えています。



あしたのまち・くらしづくり活動賞振興奨励賞

（公益財団法人あしたの日本を創る協会）

震災復興支援活動特別賞

（あすの兵庫を創る生活運動協議会）

復興支援ネットワーク淡路 代表 木村幸一

東日本大震災の被災地支援を行う同ネットワークは、阪神淡路大震災の経験を踏まえた支援活動を行っており、被災者の目線に立った活動が評価されました。



受賞の報告に訪れた谷事務局長は、「今後も継続して支援を続けたい」と話しました。

表彰おめでとう

人間サイズの まちづくり表彰

▽まちづくり活動部門(知事賞)

(敬称略)

のコンクールで市内から3人が
最優秀賞などを受賞しました。

特定非営利活動法人
あわじFANクラブ

代表 小林祥廣よしひろ



児童・生徒交通安全 ポスターコンテスト

財団法人兵庫県交通安全協
会が主催する交通安全ポスター

優良運転者「金正賞」表彰申請は 2月中に!

表彰基準 洲本市民で、2月1日現在、交通安全協会の会員であり、過去5年間無事故無違反の人で、次の受賞要件を満たす人。



受付期間 2月1日(金)~28日(木) ※土・日・祝日を除く

運転した車の別	必要条件
営業用自動車	金賞受賞後、3年以上経過していること (平成22年2月1日以前の受賞者)
自家用自動車	金賞受賞後、5年以上経過していること (平成20年2月1日以前の受賞者)
原付自転車	金賞受賞後、10年以上経過していること (平成15年2月1日以前の受賞者)

問 洲本交通安全協会事務局 ☎22-1578 FAX38-4088



▲堺小6年 植竹玖瑠実

▽最優秀賞

(兵庫県知事賞)

・堺小6年
植竹玖瑠実うえたけくろみ

銅賞

・大野小4年
宮脇幹太みやわき かんた
・鳥飼小5年
吉岡遼馬よしおか りょうま

▽兵庫県警察本部長
兵庫県安全協会会長

パブリックコメントの募集

市では下記の2つの計画について、策定委員会での審議とアンケートの調査結果を踏まえ、素案をとりまとめました。これらの計画(素案)に対し、広く意見を聞くためのパブリックコメントを実施します。

健康すもと21(第2次)計画

“健康で”「安心して」「いきいきと」暮らすことのできる地域の実現”を目指し、地域の新たな健康増進計画として「健康すもと21(第2次)計画」の策定を進めます。

実施期間 1月15日(火)~2月15日(金)

提出方法 郵送、FAX、電子メール、窓口持参

問 市健康増進課(みなと元気館)

☎22-3337(直通) FAX24-2210

男女共同参画プラン(第2次)

男女共同参画社会の実現を目指し、地域の新たな男女共同参画計画として、「男女共同参画プラン(第2次)」の策定を進めます。

実施期間 2月1日(金)~28日(木)

提出方法 郵送、FAX、電子メール、窓口持参

問 市人権推進課(北庁舎)

☎22-2580(直通) FAX23-0974

※実施期間が異なりますので、ご注意ください。

※計画(素案)の閲覧については、市ホームページ(<http://www.city.sumoto.hyogo.jp/>)か、それぞれの担当課、総務課(本庁舎)、福祉総務課、健康増進課(みなと元気館)、窓口サービス課(五色庁舎)、由良支所の各窓口で閲覧できます。

※お寄せいただいた意見については、後日整理し、市のホームページなどで公表します。

※窓口での閲覧及び意見提出は、午前8時30分~午後5時15分まで(土・日・祝日を除く)です。

早めの準備で正しい申告を

所得税の確定申告と市県民税の申告

平成24年分の所得税と市県民税の申告相談が、洲本税務署（会場は淡路文化史料館）では2月7日(木)から、市役所では2月18日(月)から始まります。毎年、申告期限が近づくと申告相談会場が混雑します。申告書はできるだけ余裕をもって作成し早めに申告を済ませましょう。市では、例年のように申告相談（受付）を行いますので（表-1）、申告が必要な人は、提出する添付書類や提示する書類をあらかじめ確認の上、申告期間中に地区別相談会場か洲本税務署の相談会場へお越しください。

所得税の確定申告

◆確定申告が必要な人

① 主な収入が給与の人であっても、次のような人。

▽ 昨年の給与収入金額が2,000万円を超える人。

▽ 給与を2カ所以上から受けている場合で、年末調整された給与以外の所得額の合計が20万円を超える人。

▽ 給与を1か所から受けている場合で、給与以外の所得（事業、不動産、年金など）があり、その所得額の合計が20万円を超える人。

- ② 商売など個人で事業を営んでいる人、家賃や地代などの不動産所得がある人。
- ③ 土地や建物等を売却して譲渡所得がある人。

市・県民税の申告

平成25年1月1日現在洲本市内に住所のある人は原則として申告書の提出が必要です。

給与所得のみの人（給与支払者が給与支払報告書を提出済みの場合）や、所得税の確定申告書を提出した人は市県民税の申告書を提出する必要はありません。

国民健康保険や後期高齢者福祉医療制度に加入されている人は軽減判定を行うために

洲本市地区別の相談日程

表-1

受付日	地区名	場所
2月18日(月)～3月15日(金)	洲本地域(全地区)	市役所北庁舎(旧市民会館)
2月18日(月)～2月21日(木)	鮎原地区	五色中央公民館(視聴覚室)
2月22日(金)、2月25日(月)	広石地区	
2月26日(火)、2月27日(水)	堺地区	
2月28日(木)～3月5日(火)	鳥飼地区	
2月6日(水)～3月11日(月)	都志地区	
2月12日(火)～3月15日(金)	五色地域(全地区)	

問 市税務課

☎ 24-7603 (直通)

必要ですので、収入がなくても必ず申告をしてください。また所得証明書など公的証明書の発行が必要な人も、収入がなくても必ず申告をしてください。

洲本税務署 申告相談会場

期間：2月7日(木)～3月15日(金)

(土・日・祝日を除く)

時間：午前9時～午後5時

場所：淡路文化史料館(山手1丁目1-27)

※会場の都合により、午後4時までに来場ください。また、会場への問い合わせは遠慮ください。

問 洲本税務署 ☎ 24-1212 (音声自動案内)

法律の改正により平成26年1月から

● 詳しくは、洲本税務署にお問い合わせください。

広告

個人で事業や不動産貸付等を行う

全ての方は、記帳と帳簿等の保存が必要に

なります!!

※記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)に掲載されていますので、ご覧ください。



申告に必要な証明書

障害者控除

◆障害者控除対象認定書

介護保険制度で要介護認定を受けた65歳以上の高齢者で、常に就床し複雑な介護を受けているなど、身体障害者手帳などの交付を受けている人と同程度と認められた人に対し、障害者控除対象認定書を交付しています。

問 市介護福祉課（みなと元気館） ☎22-9333

医療費控除

◆おむつ代の医療費控除証明書

おむつ代の医療費控除は、医師が発行した「おむつ証明書」が必要です。しかし、当該控除の申告が2年目以降の人は、介護認定にかかる主治医の意見書の確認書で証明書に代えることができます。確認書は、市介護福祉課で交付しています。

問 市介護福祉課（みなと元気館） ☎22-9333

社会保険料控除

◆社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

1年間に納付した保険料額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」（ハガキ）は、昨年11月に日本年金機構から送付されています。昨年10月以降に初めて保険料を納めた人は、2月上旬に控除証明書が届きます。

問 控除証明書専用ダイヤル ☎0570-070-117

雑所得

◆公的年金などの源泉徴収票

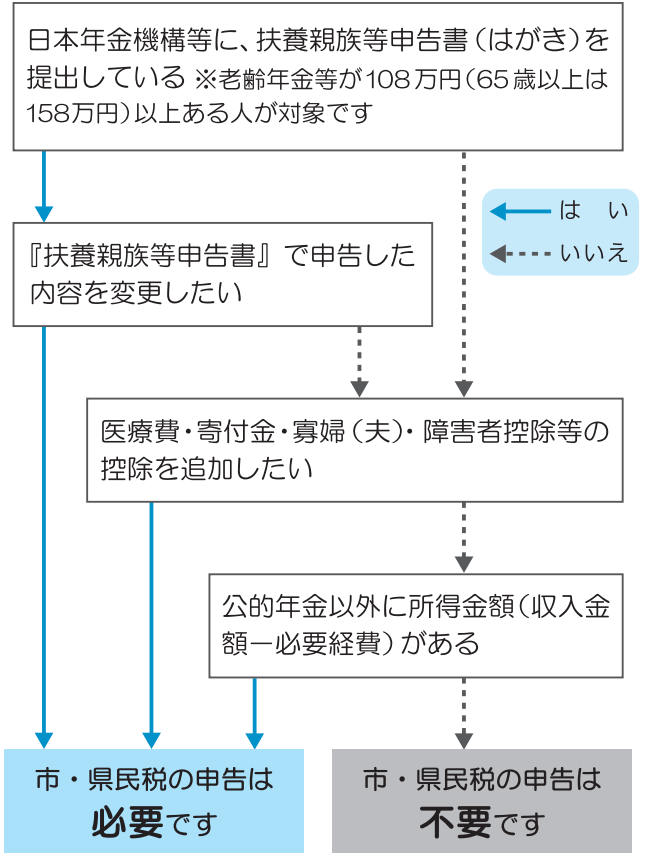
老齢年金は、「雑所得」として課税の対象になります。そのため、日本年金機構から、平成24年の年金支払総額などを記載した「平成24年分公的年金等の源泉徴収票」が1月下旬に送付される予定です。障害年金や遺族年金は、非課税のため源泉徴収票は送付されません。

問 ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165
☎03-6700-1165 (IP電話・PHS)

年金所得者の方へ

表-2

公的年金などの収入金額が400万円以下（2か所以上ある場合は合計額）で公的年金等以外の所得が20万円以下の人は所得税の確定申告は不要（所得税の還付を受ける人は必要です）ですが、市・県民税の申告が必要な場合があります。下のフローチャートでご確認ください。



申告に必要な書類

- 事前に送付された申告書の用紙（送られていない場合は不要）
- 印鑑
- 国民年金保険料控除証明書、生命保険・地震保険料などの所得控除証明書
- 給与、年金、報酬などの源泉徴収票
- 医療費控除を受ける人は領収書や、補填を受けた金額が分かるもの（事前に金額を集計してください）
- 農業で牛を飼育している人は平成24年中の飼育牛の生年月日の分かるもの（子牛も含む）
- 前年分の申告書の控え



国税庁ホームページ
www.nta.go.jp

便利な

申告書の作成は国税庁ホームページの
確定申告等作成コーナーで!!

画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税、消費税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。

また、作成したデータは、「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」を利用して提出できます。

※平成24年分から、贈与税の申告書の送信ができるようになりました。

広告



催し

洲本図書館主催講演会

絵本のすばらしさについて、わかりやすく、楽しくお話します。

▼日時 2月3日(日) 受付：午後1時30分 開始：午後2時
▼場所 洲本図書館2階

▼演題 「絵本の力は無限大」
▼講師 木戸内福美氏
▼参加費 無料

※申し込みなどは不要
洲本図書館 ☎22-0712

洲本市民工房展覧会

(3階ギャラリー・入場無料)

淡路美術協会会員展

洋画・日本画・書道・写真・

彫塑工芸などの作品展示。

▼展示期間

1月25日(金)〜27日(日)

▼時間 午前10時〜午後5時

※最終日は午後4時まで

▼洲本市民工房 ☎22-3322

地域福祉フォーラム2013

「知って役立つ成年後見制度」をテーマに開催します。

▼日時 2月17日(日)

午後1時30分〜午後4時

▼場所 市民交流センター

ビバホール

▼内容 講演：「成年後見制度の基礎知識」

講師：吉田麻希氏

パネルディスカッションなど

▼参加費 無料

▼申込 洲本市民社会福祉協議会

☎26-0022

さくらんぼの里10周年記念

映画上映会

精神に障害のある人の就労訓練などを行う同施設の開設10周年を記念し、式典と映画上映を行います。

▼日時 2月8日(金)

午後1時〜午後4時

▼場所 市民交流センター

ビバホール

▼内容 記念式典、映画上映

「人生ここにあり」

▼参加費 無料

▼申込 ケアホーム「オカピ」

☎22-2480

募集

平成25年度

放課後児童クラブ

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年(1〜3年生)児童を対象に、放課後に児童をお預かりし、遊びや生活の場を提供します。募集人員などは、施設により異なります。

▼開設時間

▼月曜日〜金曜日

放課後〜午後6時

▼土曜日・長期休業

午前8時〜午後6時

▼開設場所

▼児童センター(山手二丁目)

▼大野陽だまり館(新村)

▼由良公民館(由良一丁目)

▼子育て支援センター(炬口二丁目)

▼下内膳会館(下内膳)

▼旧安平保育所安平町北谷

▼児童館(五色町鮎原西)

▼保護者利用料 月額3千円、

今月は

国民健康保険税

第7期

(納期限：1月25日(金))

市・県民税 第4期

(納期限：1月31日(木))
です。

お届けしている納付書で、納期限までに納付してください。

※口座振替を申し込み済みの場合は、各納期限に振り替えます。

※口座振替の申し込みは、金融機関、または市税務課窓口で受付しています。

※納期限を過ぎると、督促手数料や延滞金が増加される場合があります。

▼市税務課 ☎24-7603(直通)
(開庁日、開庁時間のみ)

ただし8月のみ5千円

※ほかに保険料などが必要。

▼申込期間

1月21日(月)〜2月8日(金)

※印鑑をお持ちください。

▼申込 市福祉課

☎22-3332(直通)

▼児童館 ☎32-1433

第4回

洲本市民権講座参加者

▼日時 1月29日(火)

午後2時30分〜

▼場所 市人権文化センター

▼内容 講演 演題「老人虐待と認知症」

待と認知症」

▼講師 社会福祉士 吉田麻希氏

▼定員 50人

▼前日までに電話かFAXで申し込みください。

▼申込 事務局 ☎22-1282

▼申込 市人権教育研究協議会

☎24-7626(直通)

競争入札参加資格申請

市が発注する建設工事などの入札に参加するには、「入札参加資格申請」が必要です。市では次のとおり申請を受け付けます。

▼申請項目 建設工事、測量などのコンサルタント、物品購入・役務

▼期間 2月1日(金)〜15日(金)

※土・日・祝日を除く

▼受付場所

市財務部管財課(郵送による申請も可)

▼申請書類の配布

管財課窓口又は市のホームページからダウンロード

※申請の有効期間は、平成25年度(平成27年3月31日まで)となります。

▼申込 市管財課

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

☎24-7626(直通)

金婚夫婦祝式典

該当者は申し込みを

神戸新聞社では結婚50年を迎えられたご夫婦を招き、「金婚夫婦祝式典」を行っています。申し込みました金婚夫婦には、表彰状や記念品などが贈られます。

▼日時 5月12日(日)
午後1時～

▼場所 市文化体育館

▼対象 昭和39年中に婚姻届を提出した夫婦

▼申し込み 所定の申込書に記入の上、神戸新聞総局、支局、販売所に持参するか、〒650-8571神戸市中央区東川崎町1-5-7神戸新聞社地域活動局「金婚式」

係へ郵送してください。

※2月28日(木)必着

問 神戸新聞社地域活動局

☎078-3362-7086

兵庫県高齢者放送大学

学生

兵庫県高齢者放送大学では平成25年度の学生を募集します。本学はラジオ放送を聴いて感想文を提出することが学習の基本。教材としてテキストを毎月一回発行。また年数回のスクーリングなどを通して学生相互の交流を図っています。

▼募集期間

2月12日(火)～4月12日(金)

問 兵庫県高齢者放送大学

☎079-424-3343

お知らせ



ひょうご多子世帯保育料

軽減事業(保育所)

子育て家庭の支援を通じて、子どもを生きやすい環境づくりを推進するため、保育所に通う多子世帯のお子さんの保育料の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

▼助成対象世帯 同一世帯で18歳未満の児童が3人以上おり、かつ第3番目以降の児童が、本年度、保育所(園)に通っている世帯

※洲本市の保育料徴収基準額が、3歳未満児で30,000円以下、3歳児で25,000円以下、4歳以上児で23,000円以下のお子さんのいる世帯です。

▼助成額 月額5,000円を超える保育料に対して

- (1) 3歳未満児 月額5,500円以内
- (2) 3歳以上児 月額4,000円以内

※保育料が月額5,000円以下の場合には助成対象外。

▼所得制限 世帯の所得税額が40,000円未満

相談



身体障害者生活支援センター移動相談

障害のある人や家族の皆さんが、地域で自分らしく生活をするためのお手伝いをします。気軽に相談ください。

▼日時 平成25年1月25日(金) 午後1時30分～午後3時30分

▼場所 五色中山間活性化センター 身体障害者生活支援センター フローラすもと

☎22-5448

献血



▼2月20日(水)

▽午前10時～午後3時30分 市文化体育館

問 市健康増進課

☎22-3337 (直通)



入学準備は KUMONで!

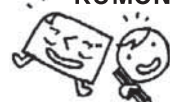
KUMON「2月無料体験学習」受付中

広告

学習期間: 2月15日(金)～2月28日(木)

「こくご」も KUMONで!

“できる”楽しさを知れば子どもは伸びる。体験学習でくもんの魅力を実感してみませんか?



お問い合わせはお近くの教室 または 0120-372-100 まで

くもんいくもん

検索

市営住宅の入居者を募集します！

▼募集団地 普通住宅8戸
▼募集期間 1月22日(火)～2月4日(月)
※土・日を除く

▼案内書の配布場所・申込場所
▽都市計画課(本庁舎)
▽窓口サービス課(五色庁舎)

団地名	構造 建設年度	部屋 番号	間取り (専用面積)	家賃 (月額)	住所	人数 要件
由良北	鉄筋2階建 昭和63年	102	2LDK (59.7㎡)	18,600円～ 36,600円	由良町由良 2349番地1	2人以上
鳥飼浦	鉄筋2階建 平成7年	206	3DK (63.6㎡)	20,000円～ 39,200円	五色町 鳥飼浦1932番地	単身可
第2鳥飼	鉄筋4階建 平成9年	301	3DK (72.3㎡)	23,300円～ 45,800円	五色町 鳥飼浦1926番地1	2人以上
		403				
第2広石中	鉄筋5階建 平成13年	302	2LDK (75.3㎡)	25,200円～ 49,600円	五色町 広石中1450番地	2人以上
朝日ヶ丘	鉄筋5階建 平成14年	101	2LDK (73.2㎡)	24,600円～ 48,400円	五色町 都志万歳177番地1	2人以上
		305				
鳥飼中	鉄筋5階建 平成16年	101	2LDK (74.9㎡)	25,400円～ 49,900円	五色町 鳥飼中452番地2	2人以上

▼注意事項
・申込は1世帯1団地に
ります。
・家賃は収入、家族構成に
より異なります。
・敷金は家賃の3ヶ月分
です。
・申込者が募集戸数を上回
った場合は公開抽選とな
ります。
※入居日は平成25年3月1
日です。

▼申込必要書類
①住民票
②所得証明書
③納税証明書
④健康保険証など

▼抽選日・場所
▽洲本地域分
2月13日(水)午前9時30分
北庁舎第3・5会議室

▽五色地域分
2月14日(木)午前9時30分
五色庁舎2階会議室

申請・問 市都市計画課
☎2417611(直通)

都市農村交流バス

兵庫みどり公社兵庫楽農生活センターでは、都市と農村の交流を応援するため、バスの借り上げ経費を助成しています。

20人以上のグループで、県内の農村漁業体験の旅行をされる場合に対象となります。

詳細については、兵庫みどり公社兵庫楽農生活センターにお問い合わせください。

補助額 (バス1台につき：上限額)

- 日帰り 25,000円
- 1泊2日 50,000円(県内泊)

※4期に分けて募集していますので、お問い合わせください。



申・問 (社)兵庫みどり公社兵庫楽農生活センター
☎078-965-2651
<http://hyogo-rakunou.com/>

広告



今と未来に確かなメリット

兵庫県

国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金
自営業、フリーランスの方など、国民年金の保険料を納めている
60歳未満の方(国民年金の第1号被保険者)がご加入できる
公的な年金制度です

自由なプランで掛金設定。ライフサイクルに応じて増減も可能です。

1口目としてA型、2口目にI型を1口加入した場合	
35歳(誕生日)に加入の男性の場合	35歳(誕生日)に加入の女性の場合
掛金額 月額16,025円	掛金額 月額17,885円
受取額 65歳～80歳 月額3万円 80歳～終身 月額2万円	受取額 60歳までお支払い 月額17,885円 65歳～80歳 月額3万円 80歳～終身 月額2万円

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ
0120-65-4192
※加入中、受給中(保証期間)に亡くなった場合、ご遺族に遺族一時金が支給されます

詳しい情報はホームページでもご覧いただけます。兵庫県国民年金基金

健康だより

元気に大きく育てよう

市立保育所(園)での取り組みを紹介します

市内の公立保育所(園)では、0歳児から5歳児の630人の園児を保育しています。この期間は、子どもの成長する過程で大変重要な時期であり、保育の現場では、園児が健康に成長できるように、さまざまな取り組みを行っています。

食へることを大切に

市の保育所(園)では、「食へることを重視し、冷凍食品などを極力使わず、地元産の食材を使った自園での給食調理を行っています。

また、園庭での野菜作り、クッキング保育なども行い、おいしく、楽しく食べられるよう工夫しています。

裸足にぞうりで冬も元気に

ぞうりは、足の指で鼻緒を挟み、足裏全体で歩行することとなるため、偏平足になることを防ぎ、脳への良い刺激が与えられると言われています。そのため、保育所の中では、全児童に健康ぞうりを履かせています。ほかに、毎日20分間のヨガ体操

を行い、集中力や柔軟性の向上、体力づくりも行っています。

すくすく育てるすもとつ子

このほかに、それぞれの園では、子どもが毎日、元気ですくすく育つよう、創意工夫しながら大切に保育しています。

市では、これからも地域の皆さんの協力をいただきながら、地域の宝物である子どもたちを元気に育みたいと思っています。



安平保育所 所長 長池 寿美



問 市福祉課 ☎ 22-33332 (直通)

第20回 あわじ緩和ケア 市民公開講座

がん患者の緩和ケアについて講演を行います。

日時 2月23日(土)

午後1時～午後4時

場所 みなと元気館(健康福祉館)3階

内容

▷一般講演「緩和ケアチームの紹介」

講師：県立淡路病院
緩和ケアチーム専従看護師
大北正三氏

▷特別講演「共に支え、共に生きる」

講師：宝塚市立病院
緩和ケア病棟チャレン・カウンセラー
沼野尚美氏



問 県立淡路病院 がん相談支援センター
☎ 24-5044

2月の健康カレンダー



母子健康手帳交付

内容		とき		場所
母子健康手帳交付	洲本会場	7日(木)、14日(木) 21日(木)、28日(木)	10:00 ～11:00	みなと元気館 2階
	妊婦相談(個別)	五色会場	12日(火)	14:00 ～15:00

乳幼児健康診査・相談(対象者には個別に通知)

事業名	対象	とき	受付時間	場所
乳児健康診査	H24年10月生	21日(木)	12:45～13:00	みなと 元気館 2階
7か月児相談	H24年7月生	27日(水)	9:30～9:45	
10か月児健康診査	H24年3月生	7日(木)	12:45～13:00	
1歳6か月児健康診査	H23年6月生	28日(木)	12:45～13:00	
2歳児相談	H22年11月生	20日(水)	13:00～13:15	
3歳児健康診査	H21年11月生	14日(木)	12:45～13:00	

その他の相談(要予約)

内容	とき	場所
すくすく子育て相談	8日(金) 9:30～11:00	みなと元気館2階
こころの相談	15日(金) 14:00～16:00	
筋力アップサークル 対象:概ね65歳以下の市民	6日(水)、13日(水) 20日(水)、27日(水)	五色トレーニングセンター
	7日(木)、14日(木) 21日(木)、28日(木)	みなと元気館
歯科保健相談	27日(水) 13:00～	みなと元気館
働き盛り ヘルスアップ教室	22日(金)、26日(火)	みなと元気館
	25日(月)	
	28日(木)	9:00～

市健康増進課 健康福祉館「みなと元気館」☎ 22-3337 (直通)

夢工房体験メニュー ☎33-1540

- パーストーン教室** 1/27・2/2・10・16・24
●時間▶10:00 ●料金▶2,500円～(材料費込) ●締切3日前
- エッグクラフト教室** 1/27・2/16・24
●時間▶10:00 ●料金▶2,500円～(材料費込) ●締切3日前
- 短冊おひな様づくり体験** 1/27
●時間▶13:30 ●料金▶1,600円(短冊掛別) ●締切前日
- 料理教室** 1/30
●時間▶10:00 ●料金▶1,500円程度(材料費込) ●締切3日前
- エコクラフト教室** 2/2・10
●時間▶10:00 ●料金▶1,500円～(材料費込) ●締切3日前
- 御殿手まりづくり教室** 2/9
●時間▶13:30 ●料金▶1日体験コース1,800円(キット代込)
基礎コース1,400円(キット代別) ●締切1週間前
- 和布うさぎ雛づくり体験** 2/10
●時間▶13:00 ●料金▶2,300円(材料費込) ●締切前日
- 赤い実のリースづくり体験** 2/11
●時間▶13:30 ●料金▶1,500円～(材料費込) ●締切前日
- バルーンアート教室** 2/15
●時間▶11:00 ●料金▶2,500円～(材料費込) ●締切3日前
- 紙おむつケーキづくり教室** 2/15
●時間▶13:00 ●料金▶3,000円～(材料費込) ●締切3日前
- パステル絵手紙教室** 2/17
●時間▶14:00 ●料金▶1,500円(材料費込) ●締切前日
- コチニールの染色体験** 2/17
●時間▶13:30 ●料金▶1,500円(材料費別) ●締切前日
- 型染め体験(夜桜のタペストリー)** 2/24
●時間▶13:00 ●料金▶3,500円(材料費込) ●締切前日
※定員5人

- 参加費** 1チーム5千円
募集組数 40組(先着順)
申込締切 1月24日(休)
- 間 GOGOドーム**
☎33-0343
- 開催日** 2月3日(日)
クラス オープンクラス
Cクラス
(各男子・女子ダブルス)



ウェルネス通信
ウェルネスパーク五色
[高田屋嘉兵衛公園]
<http://www.takataya.jp/>

- 高田屋嘉兵衛翁生誕記念**
旧暦正月(2月10日)は高田屋嘉兵衛翁の誕生日です。生誕を祝って銘菓「嘉兵衛餅」を振る舞います。
菜の花ホールや園内の埋葬地などを巡って、嘉兵衛翁の足跡に触れてみませんか。
- 開催日** 2月10日(日)
- 場所** 菜の花ホール※先着100名
浜千鳥※先着150名
ゆくゆくファイブ※先着200名
- いちご狩り体験が始まります**
いちごのシーズンがやってきました。旬のいちご狩り体験が楽しめます。
- 期間** 2月5月中旬
(ただし、2月は土・日・祝日のみ)
- 受付時間** ①午前10時～11時半
②午後1時半～4時
- 料金** 摘み取った分量を量り売り
(250円/100g)
- 間 五色洋ランセンター**
☎33-0261

市文化体育館トレーニングルーム

『2・3月度健康運動教室』 参加者募集の案内

週1回のスクール形式でストレッチ、ヨガ、ダンスミックス、キッズダンスなど全9教室を開催。



募集開始 1月17日(木)から

料金 8,000円(2か月8回分) ※要電話予約
※但し、料金は開催日数によって異なります。
※体験料金は1,000円(一人一回限り)

持ち物 運動できる服装、タオル、室内シューズ

ピラタス・ヨガ新春体験会

日時 1月23日(水)、30日(水)
13:30～14:30

料金 1,000円(1回) ※要電話予約

間 市文化体育館トレーニングルーム ☎22-6726

はごまりの島はごまりの時
—よみがえる、国のはじめの物語—

淡路島古事記
編纂1300年記念事業
特別企画

出演
神語り「大和のまほろば」
大歳久美子・かりん・川俣夜山
淡路人形座
竹本友和・鶴澤友吉
竹本友庄・坂東千太郎・吉田新九朗
創生「国生み神楽」

2013
2.15(金)
開場18:30 開演19:00

洲本市文化体育館
文化ホール しばえもん座

チケット<全席自由>
2,000円(当日券は500円増)
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催:邦楽コンサート実行委員会
後援:兵庫県淡路県民局・兵庫県教育委員会淡路教育事務所・洲本市・南あわじ市・淡路市・洲本市教育委員会
南あわじ市教育委員会・淡路市教育委員会・洲本商工会議所・一般社団法人 淡路島観光協会
財団法人 淡路島くにうみ協会・淡路文化協会・伊弉諾神宮・ちどりの会
協力:淡路邦楽親交の会・邦楽による地域活性化実行委員会

間 市文化体育館 ☎0799-25-3321(火曜日定休)

2月の無料相談



下記以外の相談は、「市民便利帳」でご確認ください。

■法律相談（予約制）

日時▷6日(水)、20日(水) 13:15~16:15
場所▷市役所北庁舎
予約 市人権推進課(北庁舎)
☎22-2580(直通)

■行政相談

日時▷13日(水) 13:15~15:00
場所▷市役所北庁舎
問 市人権推進課(北庁舎) ☎22-2580(直通)

■法律・人権・行政相談

日時▷13日(水) 13:30~15:00
場所▷五色中央公民館
問 市窓口サービス課(五色庁舎)
☎33-0161(直通)

■年金相談・ねんきん特別便相談（予約制）

日時▷15日(金) 10:20~15:20
場所▷市文化体育館
※予約満席になり次第、受付を終了します。
問 市市民課(本庁舎) ☎24-7637(直通)

■司法書士による相談（予約制・先着8人まで）

◆登記・法律相談

日時▷19日(火)、25日(月) 10:00~12:00
場所▷県洲本総合庁舎
問 司法書士山下富弘事務所
☎0799-23-9171

■行政書士による相談（予約制・先着3人）

内容▷相続・農地法・契約関係
日時▷12日(火) 13:30~15:30
場所▷県洲本総合庁舎
予約 相談会担当・行政書士瀧岡光子事務所 ☎32-1641

■こころのケア相談（予約制）

日時▷12日(火) 14:00~16:00
場所▷県洲本総合庁舎
予約 県洲本健康福祉事務所 ☎26-2060

■テレビ電話による法律相談（予約制）

日時▷毎週木曜日
13:00~15:00
場所▷県洲本総合庁舎
予約 淡路さわやか県民相談室
☎0120-36-7830

■教育相談（予約制）

日時▷18日(月) 13:00~15:00
場所▷県洲本総合庁舎
予約 県淡路教育事務所 ☎22-4152

■農事相談

日時▷5日(火) 13:30~15:00
場所▷五色庁舎2階会議室
※あらかじめ地元農業委員との協議が必要です。
問 市農業委員会 ☎33-1940

■建築士事務所協会による住宅の耐震相談（予約制）

日時▷27日(水) 13:30~16:00
場所▷県洲本総合庁舎1階
ロビー及び相談室
予約 構研設計一級建築士事務所
☎0799-64-1199

洲本図書館 ☎22-0712

- いっしょにおはなしかい (0~3歳児対象)
6日(水)、16日(土) 11:00~
- おはなし会 (3~6歳児対象)
9日(土)、23日(土) 14:30~
- もっとおはなし会 (小学生対象)
9日(土)、23日(土) 15:00~
- おりがみ教室
2日(土) 14:00~
- つくってあそぼう!
17日(日) 14:00~
※「おりがみ教室」・「つくってあそぼう!」は定員40人。参加申込は前日まで。
- 対面朗読(本の読み聞かせサービス)
目の不自由な人が対象。
事前申込が必要。

五色図書館 ☎32-1693

- えるる つくってあそぼう!
10日(日) 14:00~
※定員10人。参加申込は当日午前中まで。
- おひざのうえのおはなし会 (3歳くらいまで対象)
14日(水) 10:30~
- えるる倶楽部 10:30~
(絵本・紙芝居の読み聞かせ)
2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、
23日(土)、24日(日)
※おはなし会とえるる倶楽部は参加申込不要。

2月の図書館だより



●開館時間●

10:00~18:00

●2月のカレンダー●

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

■両図書館休館日 ■洲本図書館休館日
■五色図書館休館日

五色図書館からのお知らせ

2月15日(金)~21日(水)蔵書点検のため、休館いたします。ご協力をお願いします。

※洲本・五色図書館の新着情報は、洲本市立図書館ホームページ (<http://www.library.city.sumoto.hyogo.jp>)

図書館職員が薦める

“戦国時代に思いを馳せる”

『鮎原白巢城物語』

大下 晃伸/著



地元の鮎原では「しらっさん」の愛称で知られる「白巢城」。平成24年3月に、城跡が市の史

跡に指定されました(写真上)。

城の建物は既ありませんが、焼き討ちにあった証拠とされる黒く焦げた米が、今でも城跡から出てきます。

白巢城については、諸説ありますが、元々は戦国時代の淡路の豪族：安宅九郎左衛門冬秀公が城主であったという説が有力であり、今から400年以上前の天正9年(1581年)に羽柴秀吉による淡路攻めで落城したとされています。

本書では、白巢城がどのようにして築城され、落城に至ったかを、地元に残る文献に基づき考察されています。また、近隣の「鮎原天満宮」との関連なども書かれており、郷土の歴史をより深く知るきっかけになる一冊です。



五色図書館 吉野緒里恵



健やかな新年を祈念

第35回元旦歩こう会

1月1日(火)に、恒例の元旦歩こう会が行われ、多くの市民が参加しました。

この日は、時折雪が降る寒い日でしたが、約700人が参加。山頂で竹内市長らのあいさつの後、福を招く抽選会が行われました。

最後は、参加者全員で万歳三唱を行い、今年の平穏と市の発展を願いました。



楽しく、ふるさと再発見

ふるさと探訪ウォークラリー in 大野

大野地区県民交流広場推進委員会は、12月15日(土)、地域の史跡を巡り歩くウォークラリーを行いました。

この日は、家族や小学生や老人のグループなど、24チーム約80人が参加。参加者は、約5kmのコースを地域にまつわるクイズを解きながら歩きました。

同推進委員会の山西彬博さんは、「今度は、大野の他の場所でもやって、もっと地域を知ってもらえれば」と話していました。



ここは海拔何メートル

海拔表示板を設置

市は、防災対策の一環として、海拔表示板の設置を始めました。

この表示板は、設置してある場所

が海拔何メートルかを示しています。普段からの津波への注意喚起と避難時の目安にすることが目的です。

12月20日(土)から設置を始め、1月中旬までに、沿岸部の公共施設や公会堂など180カ所に取り付けました。



子ども巫女がお神楽奉納

河上神社天満宮で合格祈願祭



1月2日(水)、学問の神様、菅原道真公を祭る河上神社天満宮で合格祈願祭が行われ、多くの受験生やその家族らが参加しました。

神事では、4人の巫女さんによるお神楽が奉納され、一般参詣者も、新春らしい趣きに目をとめていました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。良いお正月を過ごされましたか。

さて、本年最初の表紙を飾るのは、新春の青空の下、竹内市長と小川消防団長の観閲を受ける消防団の皆さんです。

凜とした姿に、こちらまで身が引き締まるようです。「広報すもと」も身を引き締めてがんばります。今年もよろしくお祈りします。

初詣に願いを込めて

住吉神社で恵方詣

古茂江にある住吉神社は、船舶の安全をつかさどる住吉三神を祭る神社です。

毎年1月3日は、「恵方詣」と言って、多くの参拝者が海の安全や、健康、商売繁盛などを願い、初詣に訪れています。

今年はお天気にも恵まれ、大勢の参拝者でにぎわっていました。

